

石川（いしかわ）　虎之愼（とらのしん）

子どもたちのアイデアを取り入れた献立や町の特産品をもっと取り入れた給食が増えれば、食育や地域への愛着につながるのでは。

今後、皆さんの要望を受けるため、毎月配布している「食育だより」に献立募集コーナーを設けるなど工夫をしていきたい。
現在、松前町の給食では、地元産の食材を積極的に使用しており、県内の市町でもトップクラス。皆さんが「給食をとおして町のことを考える」という思いを大切に、今後も、皆さんの意見を生かしていきたい。



大森（おおもり）　愛菜（あいな）

少子化対策について
①子どもが遊べるレジャー施設をつくってほしい。
②若い女性が松前町に戻ってくるような魅力のあるまちづくりを。

①近くのまちと力を合わせて、みんなが暮らしやすい地域をつくることが大切。子どもたちが楽しめる公園や遊び場、スポーツができる環境などは、これからも充実させていきたい。
②働きやすさや子育てのしやすさを充実させるとともに、人と人とのつながりを大切にする町づくりを進めていきたい。



吉川（よしかわ）　時生（じせい）

夏の暑い時期でも体力づくりができたり、遊んだりできるよう、松前町にもプールがほしい。

新しい施設を造ることだけではなく、今ある施設をよりよく活用できる方法について、例えば、夏休みの一定期間だけでも、地域の皆さんの協力をいただきながら、安全に学校のプールを活用できる方法がないか。そのためには、安全を見守ってくれる人の確保や保険への加入など、体制を整えることが必要なので考えていきたい。



上田（うえだ）　美結（みゆ）

アリーナの建設先を松前町にできないか。あなぶきアリーナ香川は地域の活性化につながっている。

町だけが税金で建設し、運営するのではなく、民間企業とも力を合わせながら、ホテルや商業施設などと一体となって地域全体を元気にする仕組みをつくることが大切。将来アリーナが松前町以外の近くのまちにできたとしても、多くの人が松前町を通り、お店を利用したり、食事をしたり、宿泊したりすることで、松前町にも良い影響が生まれる。そうした広い視点でまちづくりを考えていきたい。

